

後期研修医・専修医 募集案内

SAKAKIBARA HEART INSTITUTE
Recruitment of Residents



日本の循環器診療をリードする 人材を育てる

当院は時代の先端を行く循環器診療施設です。

救急診療、高度な手術、カテーテル治療、画像診断、先端医療などの領域でわが国の循環器診療をリードするハイボリュームセンターとしての地歩を築いてまいりました。心臓病を胎児期から一貫して診療する立場から産婦人科も立ち上げました。急患を断らず、先端的なアメニティと設備を整える中で、患者志向性の高い診療は我々の誇りです。

診療に加えて教育、研究は私どもが最も大切にしているミッションです。多数の卒業生がわが国の循環器診療をリードする立場で活躍しています。新しい専門医制度や大学院にも対応できる多様な研修プログラムを用意しています。ぜひ私どもが培った診療、教育環境のもとでスペシャリストとしての発展を目指してください。



榎原記念病院 院長
磯部 光章



榎原記念病院について

当院は、日本的心臓外科を開拓し心臓病治療のために尽力された故榎原仟先生によって、1977年に東京都渋谷区代々木に開設された循環器専門病院です。2003年12月に東京都府中市に移転しました。



実績

- 年間1300件を超える開心術(成人＋小児)を行っている、日本で唯一の病院です。
- カテーテルインターベンション数や肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術、経食道心エコー検査なども最大級のハイボリュームセンターです。
- 小児循環器の診療においても日本で有数の症例数で、他県からも救急車や緊急ヘリなどで搬送されてきています。
- 2014年には産婦人科を開設し、心疾患を持つ妊婦さんや胎児を優先的に診療しています。
- 心臓リハビリテーションは国内で最大規模です。心エコーヤCT、核医学半導体検出器などの画像診断装置も最新の機器を導入して、診断から治療、そして社会復帰まで、最高レベルの医療を提供することが我々の使命と考えています。

こうした症例数のみならず、臨床研究施設として常に新しい医療技術の開発・普及に取り組んでいます。

待遇・福利厚生

給与：当院規定による

宿舎：専修医寮(単身者のみ)あり／無料

住宅補助：専修医寮に入居せず、自家保有住居又は賃貸住居に居住する職員(世帯主 20,000円、非世帯主 13,000円)支給あり

休日：土・日曜日、祝日、年末年始(6日間)

有給休暇：初年度(4月入職者)12日～

特別休暇：リフレッシュ休暇(年間5日間)他

社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働災害保険 加入

賠償責任保険：医師賠償責任保険、勤務医賠償責任保険 加入

学会補助：国内は基本的に実費支給／海外は実費支給(上限 50 万円まで)

保育所：院内保育園あり、病児保育室あり

食堂：職員食堂あり

その他：福利厚生俱楽部加入(レジャー施設、飲食店割引等)



循環器内科



心臓血管外科



小児循環器内科



産婦人科



臨床遺伝科

専門医を目指し

循環器疾患のほぼ全てを短期間で学ぶ

豊富な症例をもとに、循環器臨床のほぼ全ての領域を経験することが出来ます。

経験や能力に応じて、個別のカリキュラムを計画することも可能です。

また、2018年度から開始された新専門医制度に対応して、

多くの基幹病院と連携した後期研修プログラムを実施しています。



榎原で経験するということ



1. 豊富な症例



2. 研究活動のサポート



3. 将来への支援

循環器のほぼすべての領域を経験でき、身近にいるスペシャリストが懇切丁寧に指導します。豊富な臨床経験は基礎や臨床研究の新たなヒントを生み、次代の日本を担う専門医を育てます。

貴重な経験を症例報告し、研究会、学会での活動を推奨し論文化を進めます。国際学会での発表支援や院内研究助成などの制度もあります。

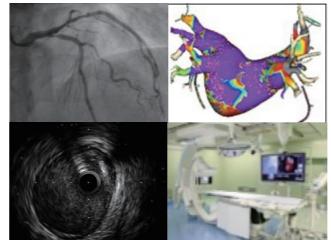
当院で引き続きキャリアアップを続けながらの社会人大学院進学や連携大学院制度、海外留学への道など様々です。あなたの希望が叶えられるよう支援することも我々の使命と考えています。

専門病院だからこそできる研修



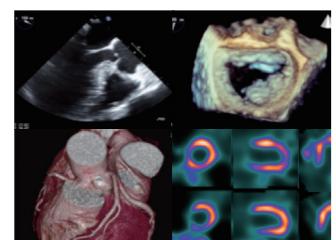
最先端の医療に参加する

経皮的大動脈弁置換術(TAVI)や肥大型心筋症に対するPTSMAの症例数は、圧倒的で日本全体を牽引しています。ハートチームカンファレンスを通じて適応やストラテジーについて学ぶことができ、心臓外科医との密接な関係も魅力です。



オールラウンダーになる

経皮的冠動脈形成術(PCI)やカテーテルアブレーションはもとより、ペースメーカーや植込み型除細動器治療、心不全治療、末梢血管治療や血管外科医と共同の大動脈ステント治療など循環器のオールラウンダーといえる症例経験ができます。



画像診断を極める

経胸壁エコー、経食道エコーおよび術中エコーを通じて外科手術やストラクチャーティー治療のサポートを実践します。最新機器やソフトウェアを用いた心臓CT/MRI/核医学に触れることは、画像診断の魅力を十分に感じさせてくれます。



救急医療からリハビリまで

当院は東京都CCUネットワーク主要施設です。心不全管理について学び、またレジストリー研究にも参加することができます。理学療法士との洗練された心臓リハビリは、重症の心臓病患者の社会復帰をサポートし、その喜びを一緒に感じることができます。

副院長 循環器内科
兼 榎原記念クリニック
院長
井口 信雄副院長 循環器内科
主任部長
新田 順一循環器内科 主任部長
七里 守循環器内科 部長
関口 幸夫循環器内科 部長
高見澤 格循環器内科 部長
細谷 弓子循環器内科 部長
心臓リハビリテーション室 責任者
心臓病総合支援センター長
中山 敦子

新専門医制度に対応したカリキュラム

[医師経験年数]



標準型

サブスペシャリティ専門研修

サブスペシャリティ 重点型

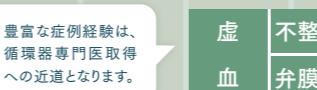
サブスペシャリティ専門研修

▶ 内科専門医コース



新専門医制度に対応して、連携する基幹病院での内科研修と当院での循環器研修を組み合わせて、内科専門医と同時に循環器専門医を目指すことが可能です。循環器の中の各専門領域をローテートしながら研修します。

▶ 循環器専門医コース(内科専門医取得者)



豊富な症例経験は、循環器専門医取得への近道となります。

▶ 指導医コース(循環器専門医取得者)



各専門領域のローテートに加えて、希望する専門領域を研修します。個々の経験や希望に応じて、さらに専門的な個別のカリキュラムを作成します。



虚血 & 不整脈
虚血 & 弁膜症

連携する基幹病院一覧

久留米大学病院／慶應義塾大学病院／国保旭中央病院／国家公務員共済組合連合会立川病院／順天堂大学医学部附属順天堂病院JCHO東京新宿メディカルセンター／昭和大学病院／聖マリアンナ医科大学病院／多摩北部医療センター／東京医科歯科大学医学部附属病院／東京医科大学病院／東京医療センター／東京警察病院／東京女子医科大学病院／東邦大学医学部附属病院／東邦大学医療センター大森病院／新潟大学医歯学総合病院／日本医科大学附属病院／日本大学医学部附属板橋病院／福島県立医科大学附属病院

※基幹病院との連携により、専門研修を当院で受けることができます。

先輩医師からのメッセージ

東邦大学医療センター
大森病院
循環器内科 助教
小島 至正 先生久留米大学病院
高度救命救急センター CCU
助教
林田 未有 先生東京大学大学院
医学系研究科 循環器内科学
榎原記念病院
非常勤医師兼研究員
蛭間 貴司 先生

2018年から2020年まで専修医として榎原記念病院に在籍しておりました。榎原記念病院は豊富な症例と充実した指導体制が特徴であると考えます。特に手技関連の症例は豊富であり在籍期間中にPCIでCVIT認定医取得に必要な症例を経験することができ、TAVIのoperatorも経験できました。手技以外にも日循での学会発表や論文作成の指導もしていただき、原著論文の投稿も行いました。手技を行いたい先生や臨床研究を行いたい先生には魅力的な研修先だと思います。

医師5年目から3年間お世話になりました。循環器に特化した豊富な症例数のもと、熱心に指導してくださる経験豊富な先生方や、様々な背景で経験を積まれた同年代の先生方と一緒に働かせていました。循環器内科医としての視野がとても広がりました。学術面にも力を入れて、学会発表や臨床研究等で機会をいただき、とても貴重な経験となりました。百聞は一見にしかずです、少しでも迷っているならまずは見学をお勧めします。

私は医師3年目からの3年間を榎原レジデントとして過ごしました。幅広くたくさんの患者さんを担当し、循環器内科医としての基盤を築くことができました。また、学術活動の指導も充実しており、学会発表や論文執筆の機会に恵まれました。榎原で培った豊富な臨床経験を活かし、現在は心筋症に関するトランスレーショナリリサーチに取り組んでいます。榎原での経験は一生の宝物です。循環器に熱い想いを抱く先生、榎原での研修をお薦めします。

日本屈指の症例数

充実した環境で多くの経験を積む

心臓血管外科は成人・小児を含め、年間1300例の開心術を行なっています。

良い心臓血管外科医になるためには少しでも多くの経験を積むことが大切です。

他とは比べられない充実した環境で一緒に研鑽を積みませんか。



豊富な症例数と実績、教育



心臓血管外科（小児）



心臓血管外科（成人）



末梢血管外科

先天性心疾患、虚血性心疾患、弁膜症、大血管、更に末梢血管疾患やEVAR等非常に多彩な症例があります。

将来の心臓血管外科のリーダーを育てることが我々の責務だと考えています。

複数の外科研修専門医プログラムを用意しています。

ご不明な点があれば、遠慮なくご相談ください。

研修の特徴



充実した設備環境

手術室は4部屋あり、毎日平均成人4例、小児2例の手術が行われます。ハイブリッド手術室も完備されています。



多様な学びの機会

他職種クロストレーニングを用いたチームビルディング、リーダーシップ、専門医習得のためのWetlabの実施、抄読会など学ぶ機会は充実しています。



他科との合同カンファレンス

毎朝、外科・内科・麻酔科・理学療法士の合同カンファレンスを行っています。また、週に1回の手術検討会で方針が決定します。

先輩医師からのメッセージ



かわぐち心臓呼吸器病院
心臓血管外科

山中 将太

心臓外科医として生きていくために。

9年間在籍しました。施設を移ってから、確固たる基礎を築く事が心臓外科医として生きていくために重要であると再認識する毎日です。内科・小児循環器含め考える全ての循環器疾患があり多くの手術数を誇る施設での毎日は刺激的だと思いませんか？多くのレジデント仲間と質の高いトレーニングを行い、切磋琢磨しながら心臓外科医として成長していく全ての事がこの病院にあると思います。ぜひチャンスを掴みに来てはいかがですか？



心臓血管外科[成人]主任部長
兼低侵襲心臓病総合治療
センター長
岩倉 具宏

心臓血管外科[小児]主任部長
和田 直樹

末梢血管外科主任部長
新本 春夫

特任副院長
高橋 幸宏

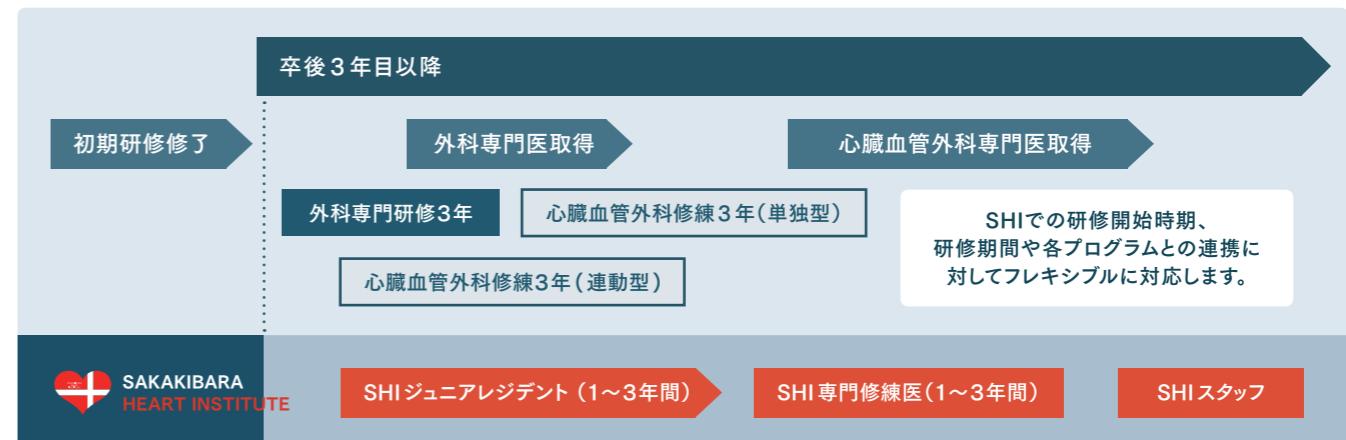
特任副院長
高梨 秀一郎

MESSAGE

心臓血管外科医になるために、更に向上するために、どこで学ぶのか。

多くの症例を一流の施設で上を目指す仲間と共に経験を積むことは、必ず大きな自信へと繋がります。

研修カリキュラム



SHIでのジュニアレジデントもしくは専門修練医を修了した後の進路は、基幹施設もしくは所属大学医局への帰還、当院連携施設への派遣、海外留学、大学院（博士課程）などとなります。当院在籍中に大学院に所属することも可能です。ご相談ください。（SHI：榎原記念病院）



先輩医師からのメッセージ



熊本大学病院 心臓血管外科
西川 幸作先生

私は2012年に専修医として入職、その後主任専修医を経て2017年からはスタッフ医として勤務し、2020年までの在職期間中に700例を超える心臓大血管手術の執刀機会を得ました。榎原記念病院の膨大な手術症例の経験により蓄積されたノウハウは、外科医としての“引き出し”を増やしてくれる宝の山です。ここでの修練がなければ、間違いなく心臓外科医として独り立ちした今の自分はなかったと言えます。また、その気になれば、それらの膨大な症例に基づく学術活動にも力をいれる事ができ、国際学会での発表や論文執筆のチャンスもあり、可能性は無限大です。

基礎から応用まで、先天性心疾患に関連した幅広い分野を短期間で学ぶ。

小児循環器医に必須の知識・技術を習得する基礎研修から専門医としての技能研修まで、先天性心疾患を中心に幅広い分野の症例を短期間で学ぶことができます。

小児循環器内科研修の特徴



1. 豊富な症例数



2. 多彩な研修プログラム



3. 小児循環器専門医の取得

国内屈指の手術件数を誇る当院では、先天性心疾患に関連する幅広い分野を短期間で経験することができます。

研修年数から研修分野まで、要望に応じて多彩な研修が可能です。循環器病院ならではの他科研修も魅力の一つです。

小児循環器内科研修で経験できること



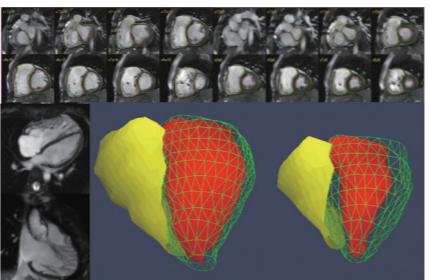
先天性心疾患手術

受け持った手術症例について術前評価から術後退院までの管理を通して行い、基本的な知識や技能の習得を目指します。また、全ての経過に携わることで小児循環器医としての責任感を養うことができます。



カテーテル検査/治療

カテーテルの基本的な操作から複雑心奇形の診断まで、幅広いカテーテル検査の技術を身につけることができます。加えて、心房中隔欠損や動脈管の閉鎖をはじめとした様々なカテーテル治療を、経験豊富なスタッフの指導のもとで経験できます。



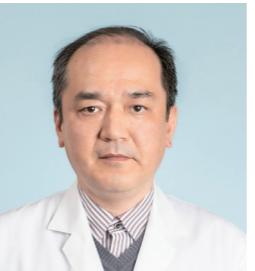
他科と連携した循環器研修

循環器内科のエコー班では、所属する小児科循環器医のもとで経食道エコーを含めた専門的な研修が可能です。MRIについても専門の小児循環器スタッフの下で撮影・解析方法を学ぶことができます。外部指導医を交えて行う胎児心エコーについても、随時研修が可能です。

1年を通して小児循環器分野を系統的に学べる定期勉強会や、標本を用いた各疾患の形態学の講義なども行っています。



小児循環器内科主任部長
嘉川 忠博



小児循環器内科部長
矢崎 諭



小児循環器内科部長
上田 知実



小児循環器内科副部長
浜道 裕二

MESSAGE

小児循環器の分野で最も大切なこと、それは手術の質と量です。良好な成績のためには小児科医による画像診断、血行動態管理、カテーテル治療の協動作業も欠かせません。忙しいかも？… 当たり前です。ベッドサイドで寄り添い、カテーテルを動かし、エコーブローバを持ってクオリティの高い臨床のシャワーを浴びましょう。使える小児循環器科医になれることを約束します。

研修カリキュラム

~1年

基礎研修

2年目以降

高度研修

指導医の下で病棟・PICU研修

※専修医が1年間に受け持つ平均的な件数
担当患者: 100例

- ◆ 心臓カテーテル: 60-80 ◆ 運動負荷: 10-20
- ◆ ホルター: 30-50 ◆ 経胸壁エコー: 150-200

指導医の下で病棟・PICU研修

成人先天性心疾患研修

不整脈、デバイス研修

ICU集中治療研修

カテーテルインターベンション研修

心エコー研修
(経食道、胎児エコー)

画像診断研修
(MRI、CT、シンチ)

基礎研修で小児循環器医のジェネラリストとしての知識・技能の習得を目指し、2年目以降で専門医としての幅広い知識およびサブスペシャリストとしての技能習得を目指しています。研修期間については、基礎研修を中心とした3か月程度の短期から、サブスペシャリティ研修に特化した長期の研修希望まで、幅広い対応が可能です。

小児循環器修練施設群

・国立国際医療研究センター

関連施設

・東京医科歯科大学
・埼玉医科大学 他

過去の専修医の所属元

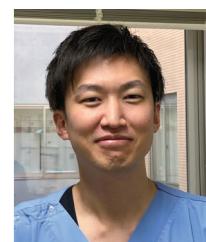
北海道、青森、山形、宮城、新潟、茨城、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川、大阪、鳥取、島根、大分、宮崎の各都道府県の大学病院及び国公私立病院から幅広く研修を受け入れています。

先輩医師からのメッセージ

経験豊富な指導医、やる気のある仲間とともに数多くの症例を経験することができます。

私は小児科後期研修終了後にレジデントとして1年間研修を行いました。カテーテル、エコーはほぼ触ったことのない状況からのスタートで、初めはわからないことばかりでした。しかし豊富な症例数や、指導医とのペア制度での診療を通じ、指導医の考え方、診療の進め方など多くを学ぶことができました。1年間と短い研修期間でしたが、内容はとても濃く、小児循環器科医としての考え方、循環器診療の面白さに触れることができ充実した研修を送ることができました。

東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 三森 宏昭 先生



1から100を学べる循環器研修

2020.4.1から1年間の研修予定でしたが、2023.3.31までの3年間お世話になりました。小児循環器疾患に関して“ゼロからのスタート”で、教育面や臨床面で優れたスタッフに恵まれ非常に居心地がよかったです。全国から難しい循環器疾患が集まっていますが、先を見越し、より良い循環を構築するための細かい評価方法を経験でき、非常に興味を持ちました。また外科医師への相談もしやすく、外科医師からの視線での循環器疾患の考え方も経験することができます。“1つの循環器疾患から100学べる”毎日であり、その経験があってこそ、循環器領域の専門医師のいない施設でも、循環器疾患でお困りの患者様に寄り添い、力になれていると感じています。研修を終えた後も、精査や治療方針に関して困った症例に関して相談できるのは非常に心強いです。

東京医科大学病院 小児科・思春期科 石井 宏樹 先生



産婦人科

OBSTETRICS AND GYNECOLOGY

循環器・心疾患を持つ女性と子供に安心を。

“循環器専門病院での産婦人科”を学ぶ。

当院では、循環器疾患を持った女性に安心して診療を受けていただける場を提供すること、また児の心臓病が疑われる場合に、胎児期から出生後まで切れ目のない医療をおこなうことを目的に、2014年に産婦人科が開設されました。小児科・循環器内科・心臓血管外科・臨床遺伝科との協力体制のもと、全国でも数少ない“循環器専門病院での産婦人科”をしっかり学ぶことができます。

研修上の特徴



1. 豊富な症例



2. 各種資格の取得が可能



3. 学会活動を支援

周産期センターでも対応困難な症例の紹介も多数あり、豊富な症例を通して充実した研修が可能となっています。

日本産科婦人科学会のほか、各種資格取得に向けた研修が可能です。

日本産科婦人科学会をはじめとした国内各学会はもとより、海外での学会発表も積極的に支援しています。

診療上の特徴



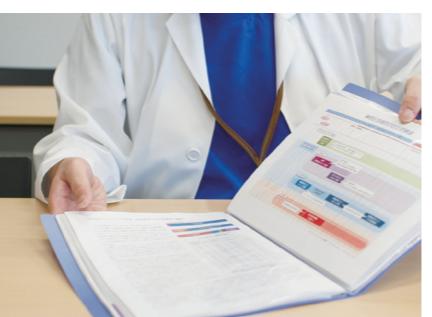
胎児心臓病

当院では年間50例以上の胎児心臓病の分娩があります。各症例について、胎児期の管理から分娩方針、出生後の治療等に関して関連診療科との合同カンファレンスを毎週おこなっています。



循環器疾患合併妊娠

心疾患の診断・治療技術の進歩により、先天性心臓病や不整脈等を持った女性で、妊娠・出産を希望される方が増えてきました。当院では、臨床遺伝科との協力体制のもとにNIPTを実施しているほか、FMF有資格者によるNT等計測による初期スクリーニングなど、各種出生前検査をおこなっています。



出生前検査

出産年齢の高齢化にともない、出生前検査を希望する妊婦が増加してきています。当院では、臨床遺伝科との協力体制のもとにNIPTを実施しているほか、FMF有資格者によるNT等計測による初期スクリーニングなど、各種出生前検査をおこなっています。



産婦人科 部長
酒井 啓治

PROFILE

1989年岐阜大学卒、東京女子医科大学、杏林大学、東北医科薬科大学を経て現職。専門は周産期医学、内分泌学。

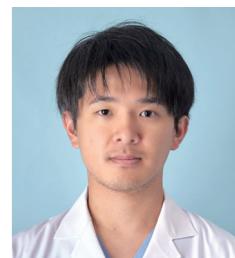
産婦人科診療実績

当院での分娩数は、年間200件弱とそれほど多くはないですが、他院では学ぶことのできない母体心疾患、胎児心疾患の分娩が、分娩数の半数以上を占めています。無痛分娩は、医学的適応や希望の方を含めると25%の症例で実施しています。出生前診断は臨床遺伝科の協力のもと行っており、NIPT検査は年間200件、初期超音波検査は年間100件前後です。いずれも産婦人科が主体的に診療に当たっています。

先輩医師からのメッセージ

私は2023年度より産婦人科レジデントとして榎原記念病院へ赴任しました。循環器専門病院のため、他院では診ることの少ない心疾患合併妊娠や胎児心疾患の症例が多く経験することができます。プレコンセプションケアから周産期管理まで一人一人時間をかけて関わることができ、全員で方針を検討しながら診療にあたっていくので一例一例を深く勉強することができます。超音波検査にも力を入れており、FMF認定ライセンスや胎児心エコーなど出生前診断の技術も取得でき、多くのエキスパートが在籍しているため、周産期科医として日々多くの学びを得られる魅力的な病院だと思います。

産婦人科 専修医 安田 侑司



臨床遺伝科

CLINICAL GENETICS

循環器に関する遺伝医療の先端を学ぶ。

2016年4月に臨床遺伝科が開設されました。

マルファン症候群、エーラス・ダンロス症候群、遺伝性不整脈、心筋症などの患者さんや妊婦さんを重点的に見てています。遺伝学的検査や遺伝カウンセリングも含め、診療各科の先生方や臨床心理士さんと協力しながら、家族も含めた包括的な診療を目指しています。患者会との交流も盛んでいます。



豊富な症例数と実績、教育

1. 遺伝学的検査/診療、マルファン症候群、ロイス・ディーツ症候群、エーラス・ダンロス症候群、遺伝性QT延長症候群、ヌーナン症候群、歌舞伎症候群、ファブリー病、遺伝性心筋症、染色体異常症(22q11.2欠失症候群)他
その他、豊富な稀少疾患症例を経験できます。
2. 遺伝カウンセリング/遺伝に関するあらゆる悩みや不安に対応しています。
3. 出生前診断 NIPT(母体血胎児染色体検査) 他



臨床遺伝科 森崎 裕子

PROFILE

昭和55年、東京大学医学部医学科卒、臨床遺伝専門医・指導医。遺伝子解析、遺伝カウンセリングを担当。



公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属

 **榎原記念病院**
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

所 在 地 〒183-0003 東京都府中市朝日町 3-16-1
代表電話番号 042-314-3111

お問い合わせ・お申し込み

<https://www.recruit.heart.or.jp>
E-mail doctor@shi.heart.or.jp